

# プット・スプレッド・コリドー（輸出）

## 概要

プット・スプレッド・コリドーは、プロテクティブ・プットを改良した戦略で、コスト削減のために一部のプットを売却し、さらにコールを売却することでヘッジコストを抑えつつ、一定範囲でのリスク防御を実現する手法です。

## 仕組み

1. Putを購入（下落防御のため）
2. さらにOTMのPutを売却（コスト削減、ただし下落余地を一部引き受ける）
3. Callを売却（プレミアムを得てコストをさらに削減、上昇の上限設定）

## この戦略を使用する場面

- ・プロテクティブ・プットのコストを抑えたいとき
- ・ある程度下落は許容できるが、大幅下落は防ぎたいとき
- ・上昇の上限を受け入れてもコストを削減したいとき

## メリット

- ・プロテクティブ・プットよりもコストを抑制できる
- ・一定範囲の下落リスクはヘッジ可能
- ・ゼロコスト設計が可能になる場合がある

## デメリット / 留意点

- ・売却したOTMプットにより、大幅下落時には損失が再び拡大する
- ・上昇時にはショートコールで利益が制限される
- ・戦略が複雑で理解が必要

## 損益イメージ

- ・軽度下落：ロングプットで防御
- ・中程度下落：ショートプットにより一部損失を引き受ける
- ・大幅下落：損失が再び拡大
- ・上昇：ショートコールにより利益に上限がある

## まとめ

プット・スプレッド・コリドーは、輸出企業がコストを抑えつつヘッジを行うための手法。ただし大幅下落時には防御力が弱まるため、リスク許容度を踏まえて設計する必要があります。